

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日 13:00～14:00

会長 藤谷 猛

例会場 ANA クラウンプラザ  
グランコートホテル名古屋

幹事 深見 礼子

承認 2013年6月18日

公共イメージ  
向上 岩崎 幸弘



ロータリー：  
変化をもたらす

2017～2018年度名古屋アイリスRCのテーマ

共に活動し、共に奉仕し、  
共に頑張るアイリス

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第196回 例会

2017年8月30日 13:00

- 司 会：須賀祐介 例会運営・司会委員
- 斉 唱：手に手つないで
- 出席報告：出席者数 27名 / 会員数 41名  
出席率 65.85%  
前々回(194回)修正出席率 70.73%  
前々々回(193回)修正出席率 82.92%

■ゲスト：渡辺自動車顧問 川島正嗣様

### ニコボックス

- ガバナー公式訪問も無事終わりました。皆さん、ありがとうございます。(藤谷猛会長)
  - 八月も終わります。お元気の事と思います。  
今日は新入会員の澤田君 受付に立っていただきありがとうございます。会長、幹事御苦労様です。そしていつもニコBox加藤様ありがとうございます(安井戦略委員長)
  - 年々1年が駆け足で訪れます。今更お誕生日と云われても目出度くもアリ目出たくも「なし」といった心境です。これからはスピードを増してゆくことでしょー？どうませう(野田陽子ハルコさん)
  - まだまだ暑い日が続きます。皆様、ご自愛ください。(加藤晴美さん)
- 以上4名 ニコボックス合計 7,000円

### 会長挨拶

みなさん、こんにちは。

早いもので、今日は8月の最後の例会となりました。この8月は、ガバナー補佐訪問と会長・幹事懇談会、そして先週のガバナー公式訪問である3RCの合同例会と続き、私と幹事にとっては緊張が連続した月でもありました。

また、青少年奉仕委員会の方々にとっても、この8月は第1回合同ローターアクト委員会が開催された大事な月でした。膨大な資料作りと準備に奔走されながらの委員会開催の緊張は相当なものだったと思います。何も分からない中で任命されたアイリス始まって以来の大役である主幹です。名城ローターアクトと12のロ

ータークラブをまとめて、前に進めるには相当なパワーが必要だったはず。加藤委員長、安井副委員長をはじめ青少年奉仕委員の皆様、本当にお疲れ様でした。

竹内会長エレクトにとっての8月も大変でした。多くのローターアクトの会合に出席されつつ、RLIと呼ばれる会長エレクト研修セミナーの第1回目に参加されました。こちらも朝から夕方まで、1時間ほどの講義やワークショップが連続して行われる大変な勉強会です。本当にお疲れ様でした。



こうして、私たちアイリスロータリークラブにとって色々な事が続いた8月ですが、今日は通常に戻り、久しぶりに落ち着ける例会を迎えることが出来ました。正直、今日は若干気持ちが、楽に感じております。

ところで8月は、私の誕生日でもあります。また、一つ年を重ねてしまいました。若い時であれば、周りの方々に祝って頂き楽しく過ごしたのですが、この年になると人生の時間が一つ減ってしまうように感じ少々焦りを感じてしまいます。みなさんは、誕生日を迎えたとき、どのように感じられたでしょうか。

私は、まだまだ、やってみたい事や学びたい事が、山ほどあります。事業においてもチャレンジしたい事が多々あります。何かにつけて余裕がなく、現実には厳しいと感じる毎日ですが、この年になっても諦める気がしません。年齢は、何かと自分の中に限界を作っ

しまいますので、年齢など気にしないと私は自分に言い聞かせています。

以前、「自分を変えたり夢を実現したりするにはどうすれば良いのだろう？」と友人たちと話し合った時の事です。友人たちは、「何か事を起こすには、年を取りすぎている」とか「いまさら」とかを揃って口にしました。皆さんは、どう思われますか？

私は、生きている限り、いくつになっても夢の実現に向かって進める自分でありたいと思っています。とは言うものの、例外もあります。例えば 80 歳になって100mを9秒台で走れと言われてもそれは物理的に無理です。しかし、年齢に関係なく実現できる夢は他にもたくさんあるのです。

これまで年齢に左右されず夢を実現した人たちをすこし調べてみました。たとえばレイ・クロックという人は、54歳の時にマクドナルドを始めました。そして、何度も何度も事業を失敗したカーネル・サンダースがケンタッキー・フライドチキンを始めたのは65歳の時でした。1987年7月24日、当時91歳のアメリカのハルダ・クルックスという女性は、日本の富士山の最高齢登山者となりました。彼女は「目標があるといつでもいい気分で行ける」と述べています。

2013年、プロスキーヤーの三浦雄一郎さんは、80歳7か月で3度目の世界最高峰・エベレスト(標高8848メートル)の登頂に成功し最高齢登頂記録を打ち立てました。アメリカの新聞にクリーニング店で21年間、1日も休まず働いたある男性の話が載っていました。21年間の皆勤は、なかなか真似できませんね。しかし、この男性がクリーニング店に雇われたのは81歳の時だったのです。現在103歳になる彼は、まだ元気に働いているそうです。

私は、ケンタッキーのカーネル・サンダースの伝記を読んだとき本当に驚きました。彼は事業が順調に進んでも、そのつど起きてくる不運に何度も邪魔をされ続けました。息子の死、立ち退きによる倒産、火災、しかし、彼はあきらめませんでした。65歳から始めた事業では、70歳近くの年齢で、経費削減のため自分でハンドルを握り、車中泊をしながら、全米で飛び込み営業を続けました。断られたNOの数は、1009回に上ったそうです。その甲斐あって73歳の時には600店舗を超える事業に成長していました。

さて、皆さんの夢はなんですか？何をしたいですか？手に入れたいものは何ですか？どこに行きたいですか？後世に何を残したいですか？

人生の長さは誰にも分かりません。夢という目標を設定し、毎日を大切に生きて行きましょう。いくつになっても生きることを諦めず、夢を持ち、実現し続ける人が集まったロータリークラブであれば、関わる人の人生

にも変化を与えられるかもしれません。年齢など気にしないで、心臓が動いている限り、夢の実現に向かって進みましょう！！

会長挨拶を終わります。

ありがとうございました。

■幹事報告 なし

■委員会報告

○荒山久美財団委員長

WFFの概要説明とWFFのチケットのお願い



○加藤正広国際奉仕・青少年奉仕委員長  
8/21(月)12ローターアクト合同委員会の報告



■卓話

渡辺自動車顧問 川島正嗣様

CS(顧客満足)について卓話を頂戴いたしました。

